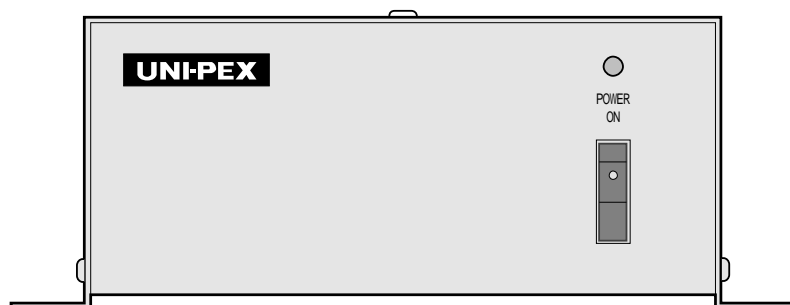


UNI-PEX

電話ページングアンプ

取扱説明書

PLP-10



このたびは、電話ページングアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



、記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

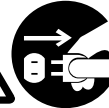


警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときはただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグをコンセントから抜け

分解 / 改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は販売店などにご依頼ください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店などにご連絡ください。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、スピーカー線や電源プラグには触れない
感電の原因となります。



壁から5cm以上の間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源コードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。



工事は工事店に依頼する
工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



濡れた手で、電源コードを抜き差ししない
感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。



移動するときは、コード類を傷つけない
火災、感電の原因となることがあります。移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



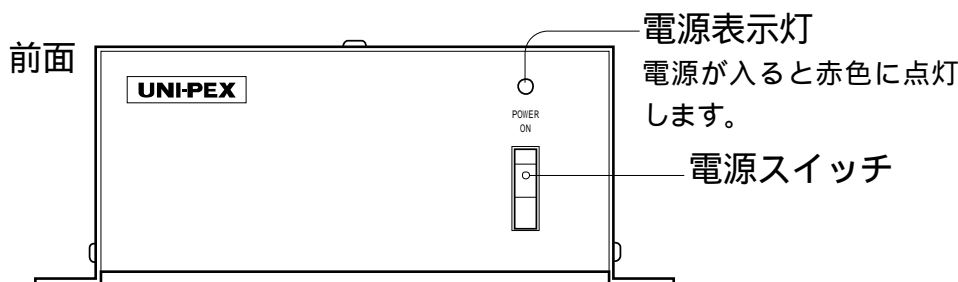
テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続が終わりましたら必ずスピーカー端子盤カバーを取り付けてください。感電の原因となることがあります。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

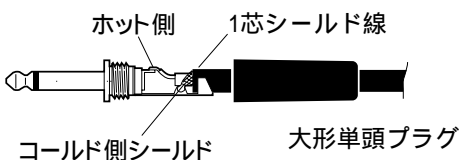


各部の名称と説明



ページング入力ジャック
(- 22dBV 10k 不平衡)
電話器主装置の放送結合ユニットの出力端子と接続してください。(放送結合ユニットの説明書に従ってください。)

入力プラグ(不平衡)の接続方法

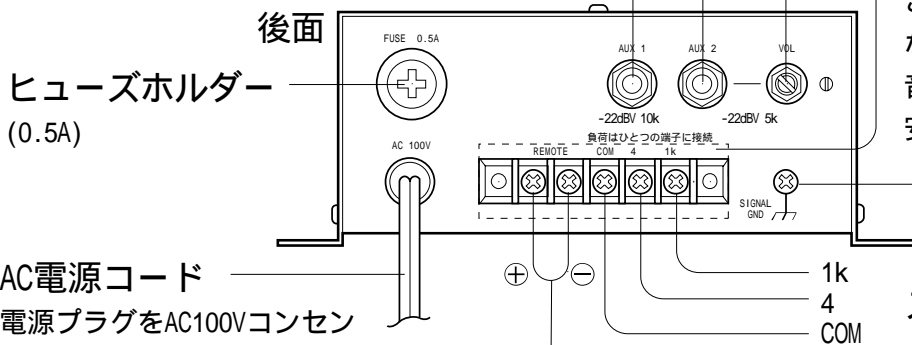


AUX2入力ジャック
(- 22dBV 5k 不平衡)
チャイムやBGMなどを接続してください。

AUX 2 音量調節器
AUX2入力ジャックに接続した機器の音量を調節します。ードライバーで調節してください。右回りで音量が大きくなります。

端子カバー

アース端子(雑音低減用)
この端子は他の音響機器などを接続した場合の雑音の低減をはかるものです。安全アースではありません。



ヒューズホルダー
(0.5A)

AC電源コード
電源プラグをAC100Vコンセントに接続してください。

リモート接続端子
オプションのリレーを組み込んだ場合にリモート接続線を接続してください。P5の相互接続図・P6のリレーの取付方法を参照してください。

(スピーカー線やリモート接続線の接続が終われば、必ず端子板カバーをもとどりに取り付けてください。)

スピーカー接続端子

スピーカーの接続

1k (ハイインピーダンス)スピーカー接続端子にはスピーカーの合成インピーダンス1k 以上、合計容量10W以下で接続してください。

4 (ローインピーダンス)スピーカー接続端子にはスピーカーの合成インピーダンス4 ~ 16 内、合計容量10W以上で接続してください。

ハイインピーダンススピーカーとローインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。

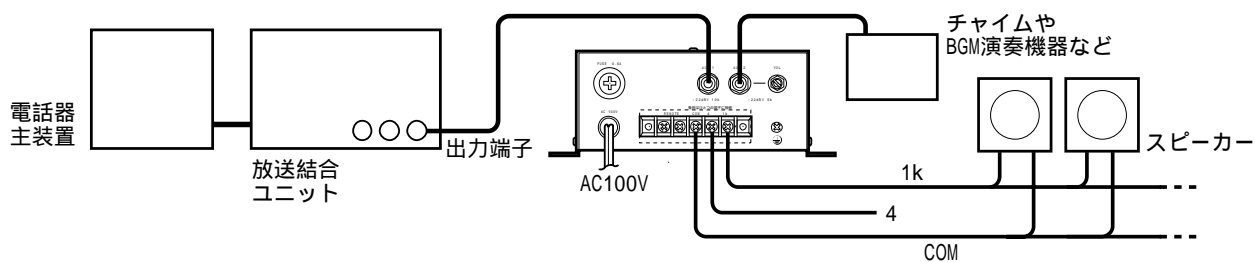


警告

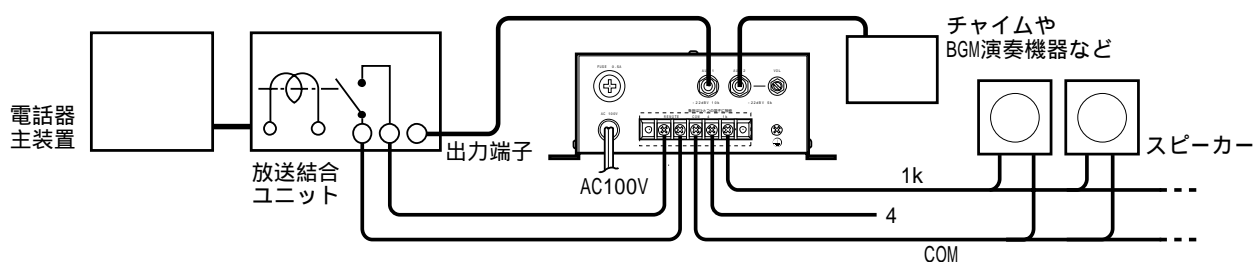
ご使用中は、感電の恐れがありますので、端子カバーをはずさないでください。端子カバーをはずすときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

相互接続図

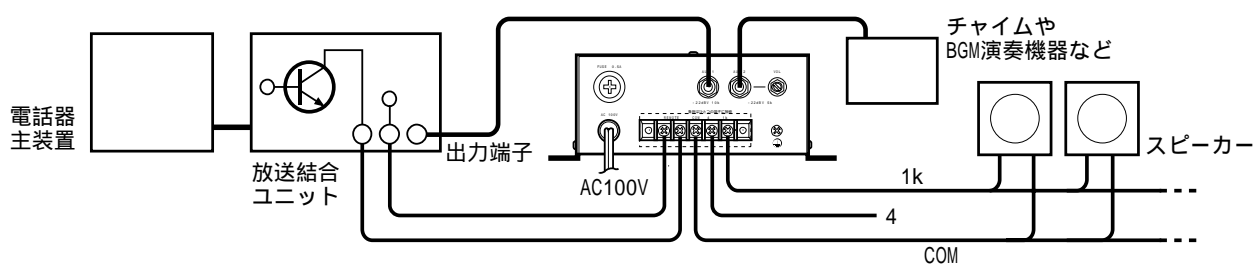
リレーを使用しない場合



リレーを使用し、無電圧メーク接点受信方式の場合



リレーを使用し、DC24V受電方式の場合




リレーの取付方法 (外部より電源リモートをする場合)

本機のカバー止めねじ6本をはずし、カバーを取りはずしてください。カバーの裏側に貼付されている配線図に従ってリレーを取り付け、基板上のジャンパ線を切断してください。

1. リモート方式が無電圧メーク接点受信方式の場合
基板上のスライドスイッチSW 1のつまみを1の方向に切り換え、リモート接続端子に制御用線を接続してください。
2. リモート方式がDC24V受電方式の場合
基板上のスライドスイッチSW 1のつまみを2の方向に切り換え、リモート接続端子+ - に制御用DC24Vを極性を合わせ接続してください。

・オプションリレー

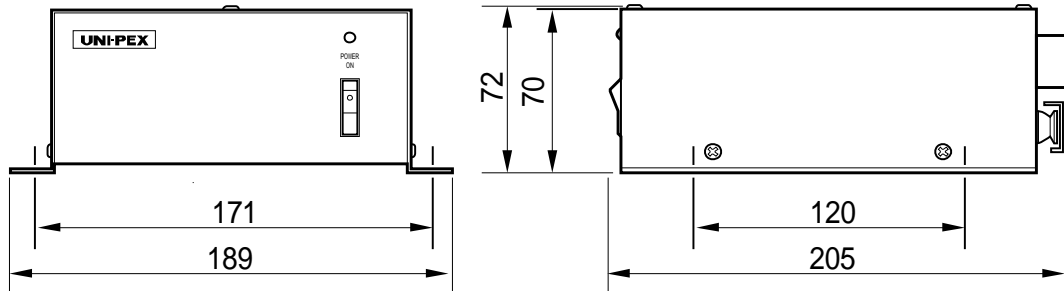
メーカー名	リレー品番
松下電工	HC 2 AP3222
オムロン	MY 2 (DC24V用)

 **警告** 本機のカバーは絶対に開けないでください。感電の恐れがあります。
オプションリレーの取付は必ず販売店などにご依頼ください。

定格

使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	17W (電気用品安全法による測定方法に基づく)
消費電流	AC 0.35A
出力負荷インピーダンス	1k (ハイインピーダンス 100系) 不平衡 4 (4 ~ 16 スピーカー使用可能) 不平衡
ひずみ率	5%以下
周波数特性	200Hz ~ 10kHz 偏差 ± 3dB (1kHz基準)
入力感度及びインピーダンス	A U X 1 : 約 - 22dBV 10k 不平衡 A U X 2 : 約 - 22dBV 5k 不平衡 音量調節器付
リモート方式	1. 無電圧メーク接点受信方式 2. DC24V 受電方式]オプションリレー組込時に限る (出荷時は不可)
信号対雑音比	60dB以上
動作表示	電源表示灯: LED (赤)
使用温度範囲	- 10 ~ + 50
外装	ケース (鋼板) 塗装仕上
外形寸法	幅189mm 高さ72mm 奥行205mm
質量	約2.1kg
付属品	取扱説明書 1、2極大形単頭プラグ 1、ヒューズ (0.5A) 1、本体取付用ねじ (4×20) 4

外観寸法図 (単位m/m)



連絡先のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。

品名 品番 お買い上げ日 故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所	〒064-0811	札幌市中央区南1条西 10-2-17	TEL.(011)511-5505(代)	FAX.(011)511-5529
釧路営業所	〒085-0025	釧路市宝町 3-8	TEL.(0154)25-3156(代)	FAX.(0154)25-6261
仙台営業所	〒984-0015	仙台市若林区卸町 3-6-11	TEL.(022)232-1295(代)	FAX.(022)232-1297
東京営業所	〒110-0008	東京都台東区池之端 2-3-17	TEL.(03)3821-3721(代)	FAX.(03)3827-5423
新潟営業所	〒950-0922	新潟市山二ツ 4-6-19	TEL.(025)287-3611(代)	FAX.(025)287-3613
金沢営業所	〒920-0362	金沢市古府 1-190	TEL.(076)240-4577(代)	FAX.(076)240-6737
静岡営業所	〒422-8037	静岡市下島 152-5	TEL.(054)238-1446(代)	FAX.(054)238-1453
名古屋営業所	〒466-0051	名古屋市昭和区御器所 1-3-29	TEL.(052)871-1671(代)	FAX.(052)872-4128
大阪営業所	〒556-0005	大阪市浪速区日本橋 4-2-7	TEL.(06)6632-2855(代)	FAX.(06)6644-1624
岡山工リア連絡先			TEL.(086)244-2317(代)	FAX.(086)244-4461
高松営業所	〒760-0079	高松市松縄町 525-1-203	TEL.(087)868-1181(代)	FAX.(087)868-1331
広島営業所	〒730-0016	広島市中区幟町 5-29	TEL.(082)222-5511(代)	FAX.(082)222-5513
福岡営業所	〒810-0074	福岡市中央区大手門 3-9-15	TEL.(092)721-5000(代)	FAX.(092)721-5089
鹿児島営業所	〒890-0052	鹿児島市上之園町 8-12	TEL.(099)250-0220(代)	FAX.(099)257-3327

ユニペックス株式会社

本社 / 営業本部 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 3-6
お客様相談窓口 (CS課) TEL.(072)855-3334